



検討会の目的と論点、進め方（案）

2026年4月30日

茨城県 営業戦略部 空港振興課

1. 目的

- ・現在のターミナルビルは、年間81万人の利用を前提に2010年3月に建設し、2025年度は過去最多の約83万人[※]が利用し、狭隘化
※東京航空局 速報値
- ・さらに、1時間に1便の受入れを前提に整備されたため、2023年10月に2便以上の受入れを可能とするよう運用ルールが変更されたが、2便を同時に受け入れることが困難であり、航空会社の就航希望に十分に対応できない
- ・増加する航空需要に対応し、円滑に旅客や航空会社を受け入れられるよう、ターミナルビル拡張や最新検査機器導入等の検討を行い、ターミナルビル機能強化方針を策定する

2. 論点について

論点① ターミナルビルの拡張・機能強化の方向性

論点② ターミナルビル拡張方法の検討（施設配置、図面、費用や工期等）

論点③ 滞留縮減に資する最新の検査機器等の検討

論点④ その他（駐車場、二次交通等）

検討会スケジュール（案）

2026年	4月	第1回 茨城空港ターミナルビル機能強化検討会	
	5月	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルビルの現状・将来の課題と対応策を検討 ・ビルの拡張や機能強化について議論
	6月		
	7月		
	8月	第2回 ビル機能強化検討会	
	9月	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回検討会及びヒアリングを踏まえた、ビル機能強化方針や拡張図面（案）を議論
	10月		
	11月		
12月	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・機能強化方針※について議論 	
1月			※拡張方針、拡張図面、整備費負担、工期 等
2027年			2月
3月			